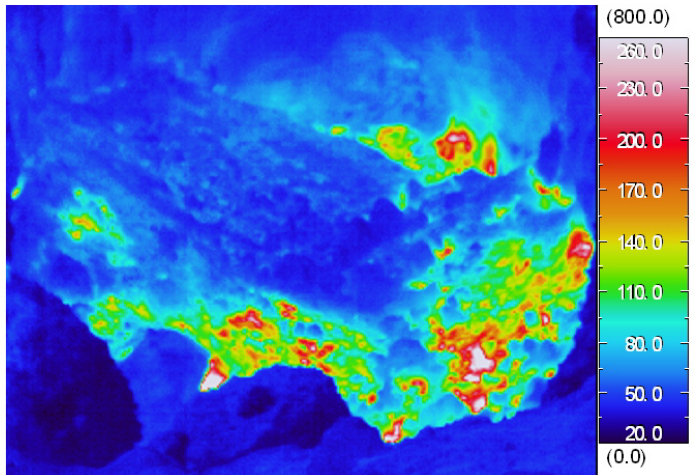


図 2※ 樽前山 最近の火山活動経過図 (1995 年 1 月～2007 年 8 月)

- ・ A 火口の温度は 1999 年から、B 噴気孔群の火口温度は 2002 年以降高温の状態が続いています。
- ・ 地震回数は 1996 年以降増減を繰り返しています。2005 年 11 月に一時的に地震が増加しましたが、その後は少ない状態で経過しています。

07/07/27  
12:46:44



07/08/27  
12:21:36

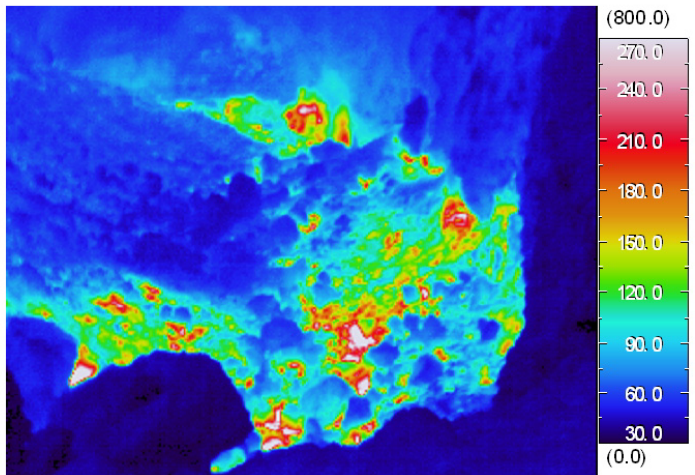


図 3 樽前山 赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による南東側から撮影した A 火口の表面温度分布  
(上 : 2007 年 7 月 27 日 下 : 2007 年 8 月 27 日 撮影距離約 40m)

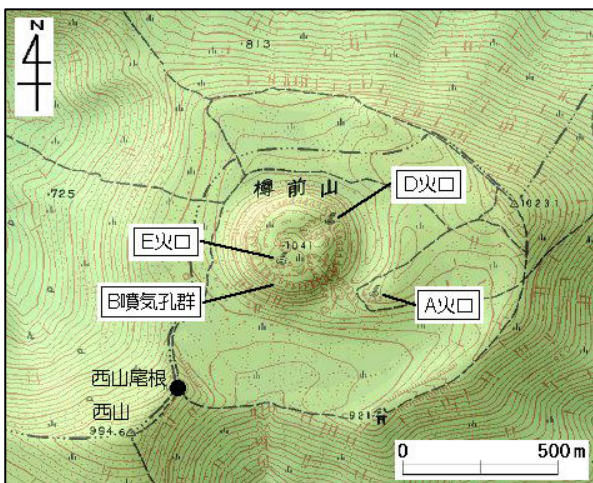


図 4 樽前山 山頂周辺図

【A 火口】

27 日に実施した赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による観測では、火口温度は約 520 度 (前回 2007 年 7 月 約 520 度) で、依然として高温の状態が続いていました。

表 1 樽前山 地震・微動の月回数 (C点: 図5のTARC)

2006~2007年	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
地震回数	69	49	28	123	42	87	40	49	56	45	29	56
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

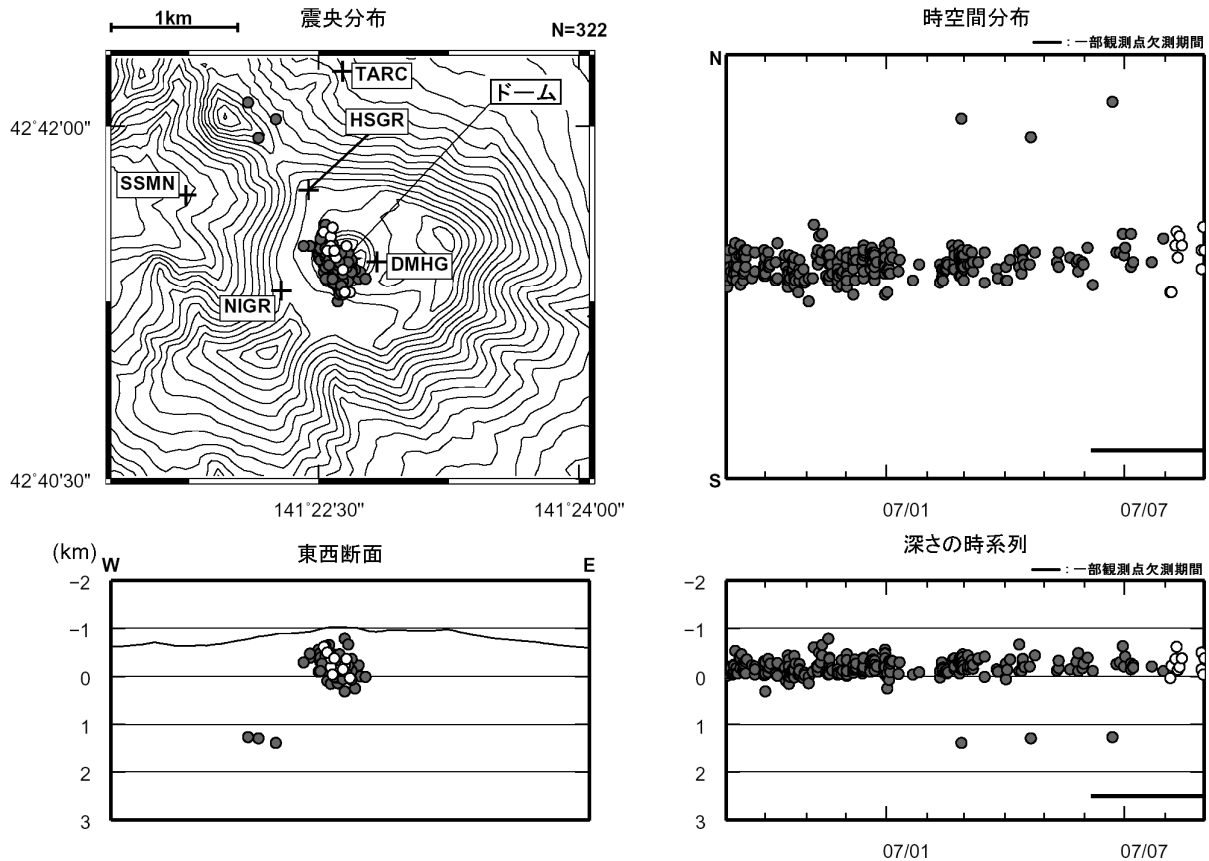


図 5 樽前山の震源分布図 (2006年9月~2007年8月、+印: 地震観測点)

○印は今期間 (2007年8月) の震源

●印は前期間までの11ヶ月間 (2006年9月~2007年7月) の震源

・前期間までの震源は山頂ドーム直下のごく浅い所 (山頂から深さ0.5~1km付近) に集中し、ドームの北西1.5km付近の浅い所にも分布しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

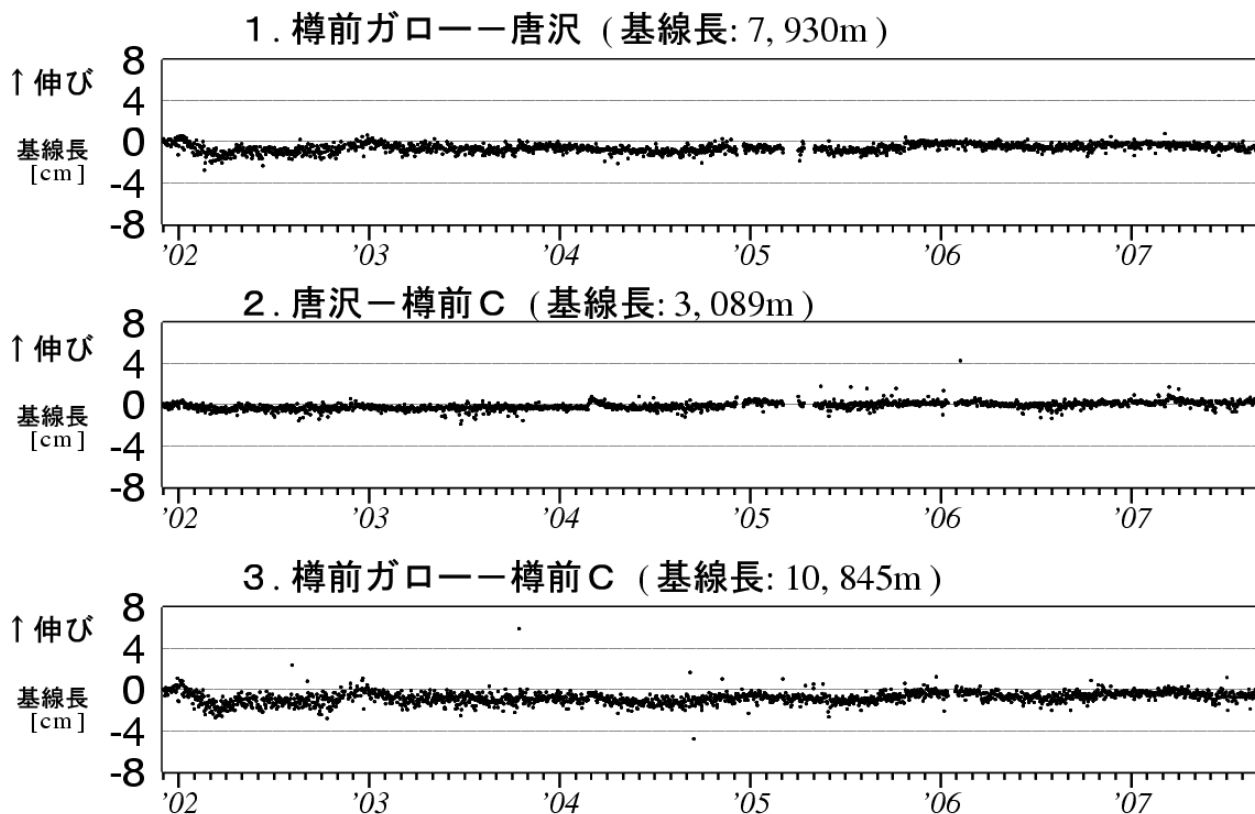


図 6 樽前山 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 12 月～2007 年 8 月)  
 グラフの空白部分は欠測  
 図 6 の 1～3 は、図 7 の GPS 基線①～③に対応しています。

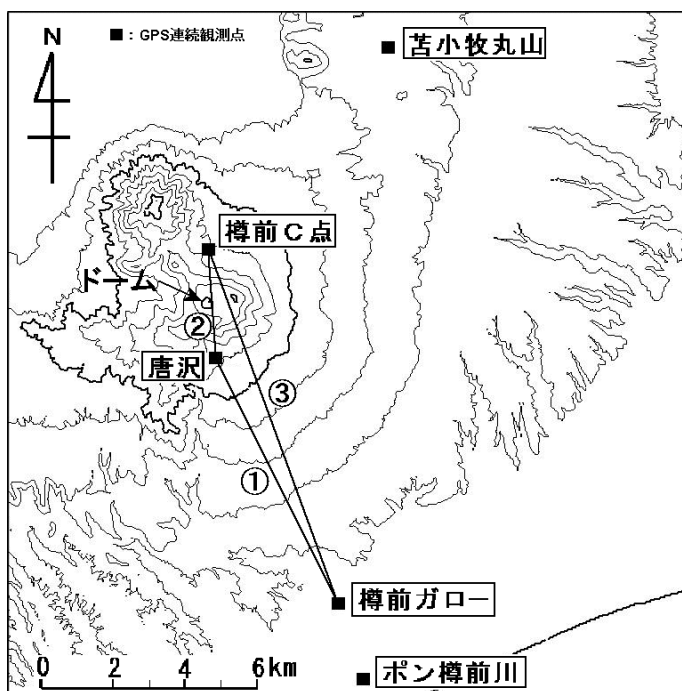


図 7 樽前山 GPS 観測点配置図